

# 環境負荷低減の取組の「見える化」の推進

---



# 農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」について①

- 環境負荷の少ない農業の取組を拡大していくためには、「見える化」により消費者の理解を深め、購買行動の変容を通じて、生産者の努力を応援することが重要。
- このため、消費者に分かりやすく環境負荷の度合いを伝える「**みえるらべる**」を令和6年3月からスタート。
- 道内ではこれまで122件（令和8年4月末時点）の「**みえるらべる**」の登録があり、イオン北海道（109店舗）での「たまねぎ」「ばれいしょ」「トマト」の販売や、道の駅等においてミニトマトを原料としたトマトジュース等の加工品の通年販売など、「**みえるらべる**」を貼った農産物を販売する動きが広がっている。

## みえるらべる（みる+えらべる）

- ★：削減貢献率 5%以上
- ★★： // 10%以上
- ★★★： // 20%以上

### 温室効果ガス削減への貢献

栽培情報を用い、生産時の温室効果ガス排出量を試算し、地域の慣行栽培と比較した削減貢献率を算定

対象生産者の栽培方法  
での排出量(品目別)

$$100\% - \frac{\text{地域の標準的栽培方法での排出量(品目別)}}{\text{対象生産者の栽培方法での排出量(品目別)}} = \text{削減貢献率(\%)}$$

地域の標準的栽培方法  
での排出量(品目別)



### 生物多様性保全への配慮 ※米に限る

<取組一覧>

化学農薬・化学肥料の不使用	2点
化学農薬・化学肥料の低減	1点
冬期湛水	1点
中干し延期または中止	1点
江の設置等	1点
魚類の保護	1点
畦畔管理	1点

### 対象品目：24品目

米、トマト(露地・施設)、キュウリ(露地・施設)、なす(露地・施設)、ピーマン(露地・施設)、ミニトマト(施設)、ほうれん草、白ねぎ、玉ねぎ、白菜、ばれいしょ、かんしょ、キャベツ、レタス、大根、にんじん、アスパラガス、リンゴ、みかん(露地・施設)、ぶどう(露地・施設)、日本なし、もも、いちご(施設)、茶

※括弧書きがないものは全て露地のみ

## 道内のスーパーや道の駅など100以上の店舗で「みえるらべる」を貼った農産物を販売

※時期により、販売されていない農産物があります。



イナゾーファームのトマトジュース（土別市）  
※通年販売 道の駅「羊の町侍・土別」



JAきたみらいのサステナブルたまねぎ（北見市）  
JAきたみらいのサステナブルじゃがいも（北見市）  
イオン北海道（道内109店舗）



平野農園のお米（恵庭市）  
恵庭道の駅「かのな」



JAきたみらいのEcoみらいたまねぎ（北見市）  
コープさっぽろ（北見市3店舗）



峯農産食品(株)のお米（岩見沢市）  
(有)山石前野商店

(株)黄福のサステナブルトマト（上ノ国町）  
イオン北海道（道内109店舗）  
／サッポロドラッグストア（一部）



「みえるらべる」  
延べ登録数  
135件

# 農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」について②

○ 全国各地の小売店等において、みえるらべるを表示した農産物等の販売が広がっている。

## 神明（全国）：米穀卸売

- 化学農薬・化学肥料の使用低減や生物多様性保全に取り組む、JAみやぎ登米、JAたじまの米を全国のイオン等で販売。



## コープおきなわ（沖縄）：スーパー

- 意欲ある地域の農業者が全国で初めてピーマンの「見える化」に取り組む。
- 環境に配慮して栽培されたピーマン、にんじん、きゅうり、なす、ばれいしょを販売。



## ゆめマート（長崎）：スーパー

- ゆめマート新大村店において、化学農薬・化学肥料の使用低減やバイオ炭の施用により栽培されたきゅうりを販売。



## 道の駅恐竜渓谷かつやま（福井）：道の駅

- 化学農薬・化学肥料不使用や生物多様性保全に配慮して栽培された米を販売。



## グリーンコープ生協（九州、広島、山口）：宅配

- 化学肥料不使用で栽培された白ねぎを販売。

## イオン北海道（北海道）：スーパー

- 北海道内のイオン全店舗において、化学農薬・化学肥料を減らし栽培された玉ねぎ、ばれいしょを販売。



## イオン東北（岩手）：スーパー

- 化学農薬の使用を最小限に栽培されたミニトマト、かんしょを販売。



## ヨークベニマル（福島）：スーパー

- 化学農薬・化学肥料を減らし栽培された玉ねぎ、ピーマン、なすなど複数品目の野菜を販売。



## 秋田県立増田高等学校（秋田）：学校

- 生徒が環境に配慮して育てた米でGHG削減貢献・生物多様性保全の両方で星3つを取得。
- 校内や地域イベントのほか、令和7年11月に東京・大丸の催事において生徒自らが対面販売。

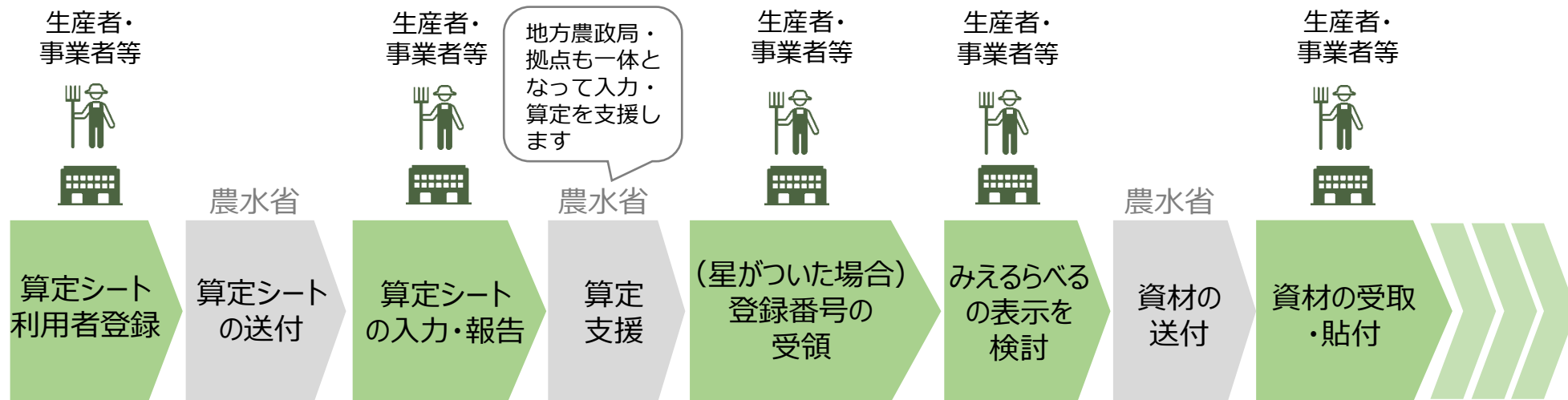


## さとふる（Webサイト）：ふるさと納税

- 令和6年12月より、米・野菜等の「見える化」農産物の返礼品を紹介する特集ページを公開。
- 特集ページには、みえるらべるや「見える化」の取組の説明を掲載。



# 「見える化」の流れ



販売

指定様式等を  
1週間以内に  
連絡

入力値の確認  
算定結果確定  
登録番号付与  
(1～2週間程度)

ラベルデータのダウンロード  
ラベルシール・ポップ等資材の  
サイズ・必要枚数等を  
農水省に連絡  
(必要に応じて)

ラベル貼付  
ポップの掲示等



<使用する栽培データ>  
※入手不可のデータについては標準値の使用が可能

- 収穫量、収穫面積
- 作物残さの取扱（すき込み、焼却、持ち出し）
- （水田のみ）中干しの状況、秋耕
- バイオ炭（種類と施用量）
- 緑肥の種類
- 農薬、肥料、堆肥：使用量
- 燃料・電力：消費量
- （水田のみ）生物多様性保全の取組 等

算定シートの使い方  
解説動画はこちら↓

農水省「見える化」ホームページ

お問合せ先や利用者登録・  
算定報告のリンク、最新の  
販売実証状況を掲載して  
います

「環境負荷低減活動定着サ  
ポート」により、支援でき  
る場合がありますので、都  
道府県にご相談ください。